

## グループ研究「学生対応・利用者サービスについて」

日時：2006年11月13日

場所：慶應義塾大学 三田キャンパス

記録：坂下

参加者：佐藤庸子（関東学院大学）水野里永子（文化女子大学）杉田典子（東海大学）  
坂下明子（創価大学）

欠席：大川龍太郎（成城大学）塚本明（東洋大学）

### 内容

今回は「学生にとって使いやすい図書館にするにはどうしたらいいのか？」

というテーマを掲げ、以下の項目についてどのように改善していったらいいのか話合った。

- ・ 施設面では
- ・ 選書面では
- ・ 開館時間について
- ・ 危機管理について
- ・ 図書督促業務について
- ・ 職員教育について

今回は、各大学図書館の現状について発表しあった。

また、図書館になかなか来ない学生をどのように呼び込んでいくのか、現在工夫している面を発表しあった。

よりよい図書館にしていくために、図書館職員のレファレンス力を高めていく必要性を語った。また、図書館と教員の授業連携が必須であるとの意見があがった。

### 要望

工夫している大学図書館の職員の話聞きたい要望があがった。

例：東北大学図書館等（情報リテラシー授業を行い、職員教育も行われている）